

広報

Yasato
Public
Information

やさと

7

2001 No.553



夏だ! プールへ行こう

総合運動公園町民プール

○町の人口(7月1日現在) 男15,264人 女15,492人 計30,756人(前月比+9) 世帯数8,212世帯(前月比+15)

いくつになっても元気に暮らす

国民健康保険は、みなさんの健康を守る大切な制度です。長人生の中で、いつ、大きな事故や病気に見舞われるかは予測できません。そこで、日ごろから病気になるないように、また、いざというときに安心して治療を受けられるように、みなさんが納める保険税と、国や町などが負担する公費などで、健康の保持と増進のためのさまざまな給付や事業を行っているというのがこの制度なのです。



↑年に1回は基本健康診査、人間ドックを受けて、自分の健康チェックをしましょう。検査結果に一喜一憂するのではなく、異常が見られたら、それを生活改善に生かしたいものです。

適度な運動は万能薬

全国の多くの市町村と同じように、八郷町でも高齢化が進んでおり六十五歳以上の高齢化率22%、国保の加入者も年々お年寄りの割合が多くなってきています。

グラフ1をご覧ください。国保全体の加入者数は増加傾向にありますが、一般被保険者数は徐々に減りつつあります。それに対して退職・老人保健対象者の割合は、徐々に増加し、総被保険者のうちの30%を占めるようになりました。またグラフ2は、総被保険者別の総医療費の推移を表しています。一般被保険者はほぼ横ばいであるのに対して、退職・老人保健対象者は5年前と比較すると約1.27倍に増加しており、国保全体の実に約56.5%を占めるまでになりました。

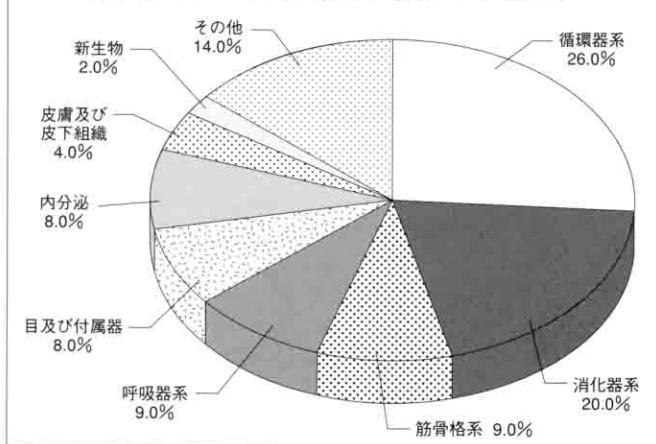
なお、十二年度（見込）の総医療費の中の退職・老人の部分が十一年度と比べてやや低くなっているのは、介護保険制度が導入されたことによるものと考えられます。

高齢社会が進展する中で医療費が増加していくのはある程度しかたのないことですが、できれば病気にかからずに毎日を元気で暮らしたいものです。

生涯を健やかに過ごすことは私たちみんなの願いですが、現在八郷町の皆さんの多くが悩まされている病気は毎日の生活なかで十分に予防することができるとは、

グラフ3は八郷町の皆さんが医者さんにかかった件数の多い疾病を表したものです。「循環器系の疾患」が最も多いことがわかります。循環器系の疾患には高血圧や、高血圧が引き金となる脳梗塞や心臓病などが含まれており、生活習慣病といわれる病気の一つです。生活習慣病はほかに糖尿病や動脈硬化、高脂血症などが含まれますが、これらの病気は軽いうちは自覚症状がないにもかかわらず

○グラフ3 かかった件数の多い疾病



症状が重くなってからでは治療が難しいという、困った特徴があります。

では、これらの疾病を予防するにはどうしたらいいでしょうか。一番簡単な予防法は、自分に無理のない範囲で適度な運動をすることです。最近注目を集めているウォーキングは、ケガなどの危険が少なくさまざまな病気の予防・治療効果があることが知られています。ことし町では、10月7日に「やさしくウォーキング大会」を開く予定です。皆さんもぜひ参加をされて暮らしのなかにウォーキングを取り入れて、毎日を元気に暮らしましょう。

保険税納めて給付を受ける

国保で受けられる給付にはつきのようなものがあります。

①療養の給付 病気やケガをしたときに、お医者さんの窓口で

国保の保険証を提出すれば、実際ににかかった費用の三割を一部負担金として支払うだけで、医療をうけることができます。

②療養の支給 次のような場合

いったん全額自己負担になりますが、申請により国保が審査し決定した額の保険給付分があとで支給されます。

③やむを得ず保険証を持たず治療を受けたとき。

④コルセットなどの補装具代がかかったとき。(医師が必要と認

めたときに限る)

③骨折やねんざで接骨院治療を受けたとき。(保険証が使えない場合)

④医師の指示で、はり、灸、マッサージなどの施術を受けたとき

⑤輸血に生血を使ったとき。(第三者に限る)

ほかに出産育児一時金・葬祭費の支給などがあります。

このように国保加入者のみならず、医療費の一部を負担するだけで医療を受けられますが、同時に保険税を納める義務もあります

もし、保険税を納めない人がいると、国保の運営が困難になり、医療費をまかなえなくなってしまう



↑いつでもどこでも気軽にできるウォーキングは、生活習慣病や老化防止に効果バツグン。町では10月7日(日)に第1回やさどウォーキング大会を計画しています。

います。保険税は必ず納めましょう。保険税を納めないでいると、その未納期間に応じた厳しい措置がとられますので、十分注意してください。

資格証・短期証の交付も

①納期限を過ぎると督促が行われます。

②それでも納めないでいると、通常の保険証のかわりに短期被保険者証が交付されます。

③納期限から一年間を過ぎると保険証を返してもらい、かわりに資格証明書が交付されます。

*資格証明書とは被保険者であることを証明するだけのものです、保険証のように受診券とはなりません。ですからお医者さんにかかるときは、医療費をいったん全額自己負担することになります。

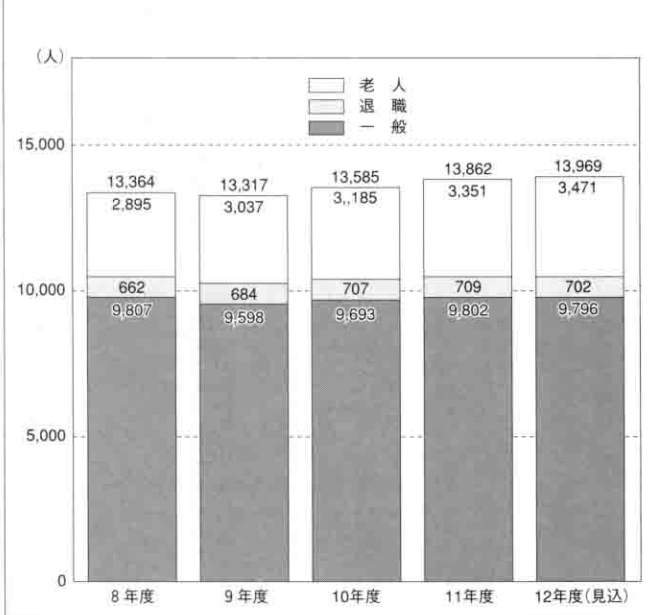
④納期限から一年六月を過ぎると国保の給付が全部、または一部差止めになります。

⑤ ②③④の措置を受けてもなお納めないでいると、差止められた保険給付額から滞納額が差し引かれます。

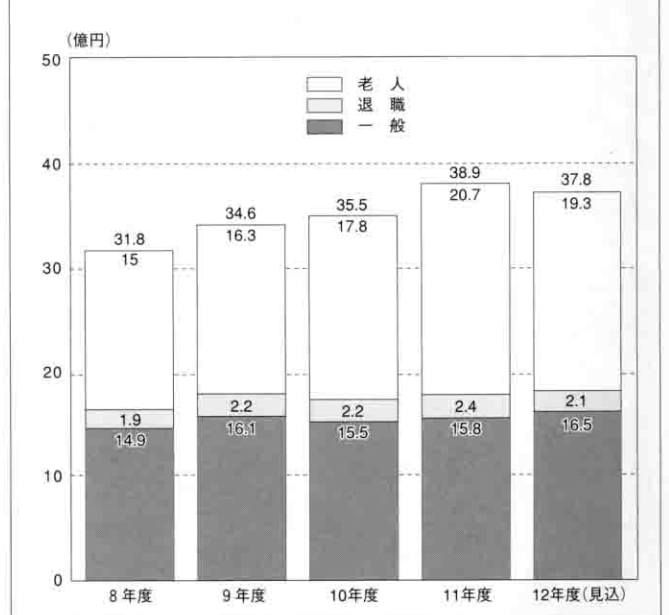
⑥財産の差押えなどの処分を受けます。

また国保税は、みなさんの所得申告書(前年)をもとに課税されており、必ず申告してください。いつでも受け付けます。

○グラフ1 被保険者数の推移



○グラフ2 総医療費の推移



専決処分の報告・一般会計補正予算などの審議



平成十三年八郷町議会第二回定例会は、六月十一日招集され十五日まで、五日間の日程で開かれ、提出された案件は、報告十二件、議案六件でしたが、すべて原案のとおり可決されました。おもな内容は、次のとおりです。

報告

平成十二年度の一般会計・下水道事業特別会計の繰越明許費繰越計算書の報告、農業開発事業団・産業文化事業団の予算及び決算報告、平成十二年度一般会計補正予算の専決処分、施行日の関係で三月三十日に専決処分した条例改正の報告でした。

予算補正議案

平成十三年度の一般会計補正予算は、四千七百六十七万一千円を追加し歳入歳出総額は、それぞれ

九十三億四千七百六十七万一千円になります。

歳入の主なものは、ふるさと創造事業に係る県補助金千二百二十五万円等が増額となりました。

老人保健特別会計補正予算は、千四百六十六万一千円を追加し歳入歳出総額それぞれ二十八億九千七百四十六万一千円となります。

条例改正

非常勤消防団員の退職報償金の支給条例の改正があり、勤続年数と階級による報償金の額は、五年以上十年未満の団員で、十三万六千円に、三十年以上の分団長は七十九万一千円、三十年以上の団長は九十二万一千円になります。



防災行政無線

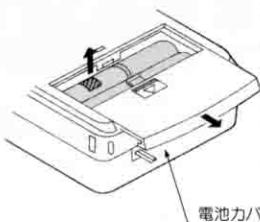
停電時用電源乾電池の確認を

戸別受信機は、通常家庭用百ボルトの電源に接続してあれば、停電時には内蔵の乾電池を電源とし支障なく受信できます。もし、百ボルトの電源に接続されていないと、乾電池の消耗が著しく早くなります。

電池切れの状態では、停電時に放送を受信できないばかりでなく、長期間放置しておくとも電池の液もれにより受信機本体の故障の原因になります。

受信機の赤と緑の表示ランプの内、赤い表示ランプが消えている場合は、電池切れの状態です。電池交換を行ってください。電池交換は、それぞれの家庭で四本同時に行ってください。音量の状態や、アンテナの向きによる受信状態などに注意して、いつも正常な受信状態を保つようにしてください。

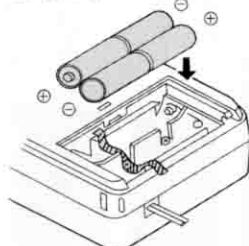
●出しかた



乾電池を取り出す時は電池カバー中央のマ印部を押しながらかつ方向に引いて下さい。

乾電池が飛び出さない様に片手で乾電池の上にあてがひ、リボンを図のような方向に引いてください。

●入れかた



単2型乾電池4個を図のように、極性(+)、(-)に注意して、電池ケースに入れてください。リボンは乾電池を出すときに必要なものですから、はしを図のように出しておいてください。

詳しくは、総務課防災交通係 ☎四三一一二二一 内線二三三八までお問い合わせください。

上曽トンネル起工式

県道石岡下館線上曽トンネル整備事業



七月五日（木）午前十一時から真壁町山尾地区で、梅雨とはいえ真夏を思わせる日差しの中、上曽トンネル起工式が行われました。

式典は、茨城県選出の衆・参議院議員、県議会議員、県知事、期成同盟会関係市町村長をはじめ八郷町、真壁町の地権者の皆様のほか関係機関の方々約二百六十名が出席し、事業の概要説明、来賓各位のあいさつを行いました。あと、工事の安全祈願と鍬入れを行いました。

これで平成十八年度の完成を目指したトンネル工事の第一歩を今踏み出しました。

県道石岡下館線 上曽トンネル整備事業概要

主要地方道石岡下館線は、県南の石岡市と筑西の下館市を結ぶ幹線道路です。さらに、石岡市から先については鹿行地域の中心となる鹿嶋市、ならびに重要港湾の鹿島港に繋がっており、茨城県内を斜めに横断し、県南東部と県西部を結ぶ道路の役割を担っています。

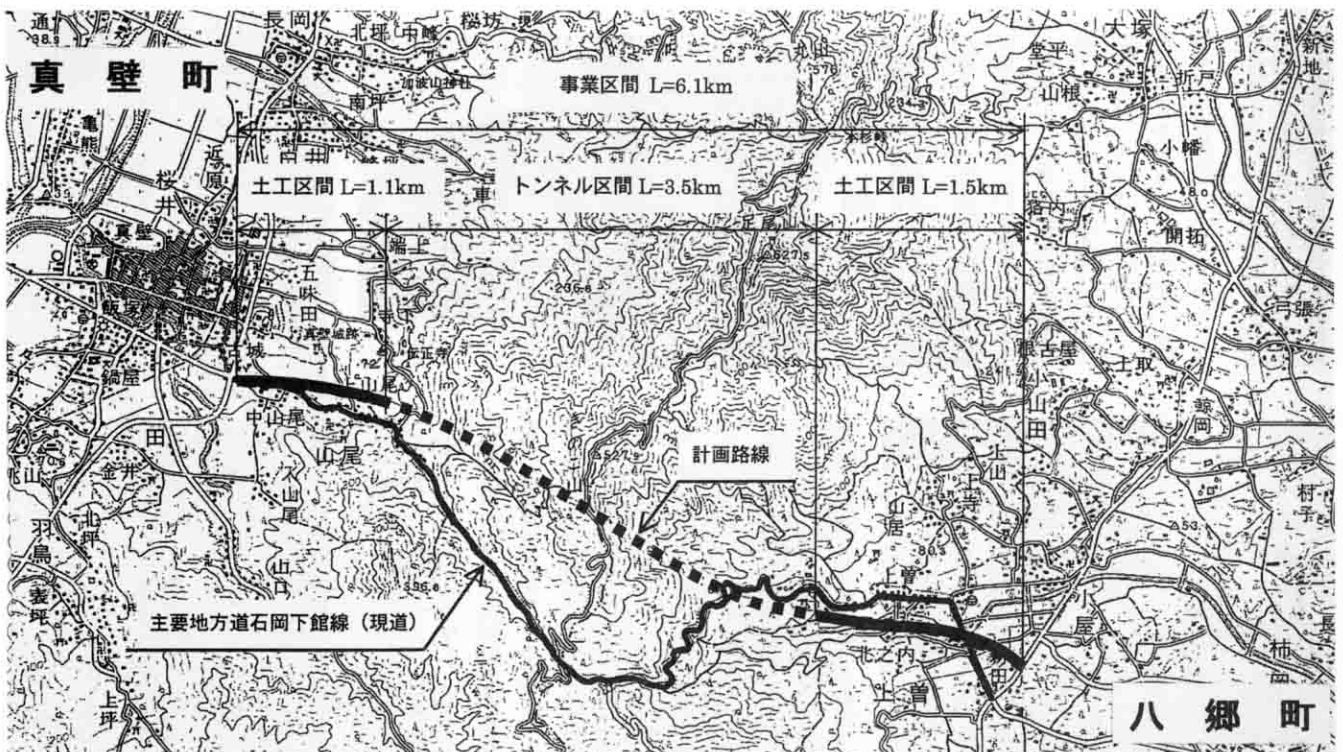
しかし、筑波山塊を通過する本区間は、その地形条件等から整備が遅れておりました。

現在の道路は、幅員が狭いうえ急勾配で、カーブが連続しています。また、冬季の路面凍結時に通行が不能な期間もあります。

上曽トンネルの開通により、これらの交通に係る支障を解消することと、県南北部と県西部との人的、物的交流が促進され、地域の相互連携の向上が図れます。

上曽トンネルは、事業区間総延長約六・一キロ、トンネル区間三・五キロ、取付道は真壁町側一・一キロ、八郷町側一・五キロです。総事業費は約百二十億円で、トンネル部では事業費を約百億円と見込んでおり、平成十八年度の完成を予定しております。

完成後は、常磐自動車道の日立トンネル（二・四キロ）を抜き、県内一の長さとなります。





わたしたちのまちは わたしたちが守る

面積二十四・五八平方キロ、人口約三千三百八十余人が住む葦穂地区。八郷町の中では一番の面積を有しています。また、山が多いため、山火事への心配を抱えている地区でもあります。

今月号は葦穂地区Ⅱ第三分団の紹介をします。総員六十二人が火災予防の広報活動、消防訓練をしながら地元の安全を見守っています。



第3分団4部のみなさん

三分団三部 鈴木浩之さん(上倉)

八郷町農業協同組合に勤める鈴木さんは農機具センターに所属しています。仕事は主に農家から頼まれたコンバインなどの修理・点検をしています。消防団には平成八年に入団。「消防に入ると年上の方たちとのつながりが持て、人生の先輩として学ぶことが多い」と笑顔で話す鈴木さん。仕事と消防活動を両立する頼もしい団員です。



三分団一部 植木芳樹さん(小倉)

植木さんも鈴木さん同様、八郷町農業協同組合の農機具センターに勤めています。農家に直接出向き、機械の調子を見たり、農作業中の機械のトラブル時につけたりするのが主な仕事です。「仕事が外回りなので、火事の際は携帯で出勤要請があります。農協は消防活動に協力的で、私も消防は仕事のひとつだと考えています」



三分団四部 田中 清さん(小屋)

石岡市の君山重機に勤め、建築現場で資材の揚重をしている田中さんは、消防団に入団して十五年目。現在、班長として班内をまとめ、今年の操法大会の選手としても、練習に励んでいます。「仕事で県外の現場に行くこともあるので、なかなか地元での火事現場に行けないのが申し訳ない。できるかぎり協力していきたいと思えます」





小林分団長(上曾)

第三分団長
小林 透

団員が力を合わせて
消防活動に努めます

葦穂小グラウンドから掛け声が響き渡ります。七月二十日に行われる町操法大会に向けての練習です。今年には三分団四部が小型ポンプの部で出場予定です、選手のみなさんは間近に迫った大会に向けてお互いに気合いを入れながら練習に励んでいます。

練習は週に三回行われ、選手をはじめ三分団員のみなさんは仕事から帰宅してすぐにグラウンドに向かいます。「操法大会に向けての練習は、新人団員が基本的操作を覚える絶好の機会です」と分団長の小林さん。「仕事で疲れているにもかかわらず、一生懸命に練習、指導している団員の姿を見ると私も力が湧いてきます」と穏やかな表情で話してくれました。

第三分団葦穂地区は吉生地区を第一部、小倉地区を第二部、上曾地区を第三部、小屋地区を第四部、鯨岡地区を第五部とし、自動車ポンプ二台、小型ポンプ三台と総員六十二人で地域の財産を火災から保護するとともに、風水害等による被害を軽減できるよう、月に数回巡回をしています。各部それぞれ団員の訓練、機械器具の取扱、水利の確認および消火栓防火水槽の点検と頑張っています。団員だれもが機械の取扱いができ、少数でも水が出せるよう訓練しています。その訓練の一環として町操法大会が行われています。

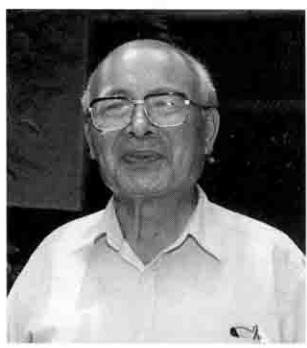
現在の社会情勢で勤務形態が多

種多様になる中で、消防活動をおして団員同士が築きあげた友情は火事や災害時における連帯感にもつながる貴重なものです。

これからも一致団結して事に当たれるよう、各部門で協力し、消防活動に努める次第です。地域の皆様のご理解あるご支援、ご援助に感謝申し上げます。

町民の声
上曾在住
成田常三郎さん

私が小さい頃は、火事が多かったですね。よく家の屋根の上に立って火事を見た覚えがあります。幼心に火事は恐ろしいものだと感じていました。平成十一年度の上曾区で自主防災組織を結成し、火事や災害時に集落住民が安全に避難できるように上曾公民館を避難場所として、それぞれの役割分担を決めました。集落での火事は、家にいる人が守らなくてはなりません。これからは消防団と連携をとって、初期消火訓練を行っていかれたらと思います。



消防特別点検

第三分団四部のみなさんによる消防特別点検が行われました。四部は小屋、山居上寺、上山が持ち区で、消火栓、防火水槽、ホース格納箱などの位置を確認・点検しました。



→放水訓練。「水を出すことよって、ホースに穴があいていないか、調子に分かります」と部長の岡田さん。(写真手前左)



↑消火栓の点検。ここから水を供給します。

団員の一日



→ホース格納箱の中も定期的に確認します。「ホース、大箱まわし、管さうOK!」



→川は貴重な水利。水の量をチェックします。少ない時は土盛りをして水をためておきます。



→防火水槽の中の量を確認し、消火栓からホースをつないで水を補給します。「古い防火水槽は少しずつ水がもれてしまいます」と団員は話します。

平成十二年度

情報公開の実施状況をお知らせします

町では、開かれた町政を推進するため、平成十二年九月一日から「八郷町情報公開条例」に基づき、町民のみならずからの請求に応じ、町が保有している行政文書等の情報を公開しています。

平成十二年度（平成十二年九月一日から平成十三年三月三十一日）は二十五件の請求がありました。

処理結果など実施状況は左表のとおりです。

町では今後も情報公開制度活用を推進を通して、より一層開かれた町政をめざしてまいります。

情報公開について詳しくは役場総務課文書法政係

（☎四三一一一内線一三三五）までお問い合わせください。

実施機関	主な内容	請求件数	公開の状況			
			公開	部分公開	非公開	不存
町長	町長交際費関係ほか	18	14	1	2	2
秘書広聴課	入札関係ほか	7	7	0	0	0
財務課	町税滞納関係	6	3	1	2	2
税務課	トンネル調査費関係	1	1	0	0	0
建設課	業務委託契約関係	1	0	1	0	0
都市計画課	会計決算関係ほか	1	1	0	0	0
水通課		2	2	0	0	0
教育委員会		4	4	0	0	0
学校教育課	業務委託契約関係	1	1	0	0	0
生涯学習課	業務委託契約関係	1	1	0	0	0
中央公民館	業務委託契約関係	1	1	0	0	0
給食センター	業務委託契約関係	1	1	0	0	0
議会	議長交際費関係ほか	3	2	1	0	0
合計		25	20	1	2	2

※不存在とは、公開請求があった文書等を実施機関が保有していない場合の決定措置です。

※非公開決定に対する不服申立（二件）については、町情報公開等審査会に諮問しました。

まちづくり対話教室にご参加ください

町では、多くの町民のみならずと対話を重ね、みなさんの意見を町政に反映させるため「まちづくり対話教室」を実施いたします。

見学先 町内の旧跡や施設など。

詳しくは後日参加者に通知いたします。（見学先は事情により変更することがあります）

募集人数 二十人

参加資格 町内在住の方

申込先 役場秘書広聴課

締め切り 十三年八月十七日（金）

※事情により日時・見学先を変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。

対話教室では、町内外の施設を見学しながら、町長と町民のみなさんの触れ合いの場を設け、行政について話し合いながら町政に対する理解を深めていただきます。お誘い合わせのうえ、お気軽にご参加ください。

日時 平成十三年九月四日（火）



↑ 昨年の対話教室のようす。根小屋の県畜産センターなどを見学しました。

八郷町スポーツ少年団

3チームが県大会出場決まる

五月十二日と十三日の二日間、町総合運動公園を会場にスポーツ少年団春季リーグ戦が行われました。野球とバレーボールそれぞれ十チームが参加し、野球は瓦会小学校、バレーボールは小幡小学校と葦穂小学校が優勝しました。

勝ち抜いた三校のスポーツ少年団のみなさんは、茨城県スポーツ少年団スポーツ大会への切符を手に入れました。

大会は、野球が八月十一日から



瓦会スポーツ少年団

十三日の三日間、ひたちなか市で、バレーボールが八月四日に牛久市でそれぞれ行われる予定です。参加するチーム数は、野球が七十三チーム、バレーボールが五十七チームになります。

また、同大会に予選なしで八郷町から八郷バトミントンと、東成井ミニバスケットボールの少年団のみなさんも出場が決まりました。汗を流し、一生懸命に練習した努力は必ず報われます。くいのな



小幡スポーツ少年団

い試合をしてきてください。八郷町スポーツ少年団はそれぞれの小学校で自主的にスポーツをしたい子どもたちが集まり、活動している団体です。保護者などが中心となって指導に当たっています。

また、スポーツ少年団はスポーツだけでなく、レクリエーションなども随時行いながら、大人と子どもが話し合い、交流する場づくりを進めています。



葦穂スポーツ少年団

花と緑の楽園
茨城県 **アサヒパーク**

秋の山野草まつり



シュウイメイギク

「花と緑の楽園」茨城県フラワーパークでは「秋の山野草まつり」を開催いたします。

開催期間
九月二日(日)～十六日(日)

期間中の催し物

●秋の山野草展
秋の七草をはじめリンドウ、シュウメイギク、ホトトギス等で創作展示いたします。

●山野草特別販売
山野草愛好者に人気の高い山野草を多数取り揃え販売いたします。

●秋植え球根プレゼント
チューリップの球根を先着百名様、(日祭日は先着二百名様)にプレゼント。

●秋植え球根特別販売
スイセン、ユリ、チューリップ、ヒヤシンス等の秋植え球根の販売をいたします。

●園芸教室 九月九日(日)
秋植え草花の育て方や管理法などについて参加無料で行います。

●敬老の日 九月十五日(土)
満六十五歳以上の方の入園料を無料にいたします。

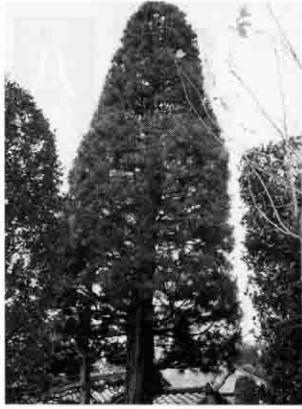
◆ ◆ ◆
九月中旬から下旬にかけて三万平方メートルのソバ畑の花が白一色に咲きそろういます。
詳しいお問い合わせは、茨城県フラワーパークTEL四二一四二一までお願いします。

原田家のコウヤマキとシダレザクラ

県道土浦・八郷線、バス停「上の台」の手前を右折して坂道を登り、左手高地に立つ原田家。北側に杉木立の防風林を巡らし、南向きの日当たりの良い屋敷には二階建ての蚕室など昔ながらの面影を留めた幾棟もの建物が建っている。

四代目の当主が建てたがっしりとした長屋門を潜ると、コウヤマキは門右手の植え込みに一際高く艶やかな緑の樹容を現す。原田家の先祖が高野山に参詣した折、苗木を求め記念に植栽したものと伝えられている。樹齢は定かではないが、当家の数ある古木の中では最古参樹だという。十年前、落雷を避けるため四層程切りつめ、

そのため樹高は幾分低くはなったが、今も樹勢よく、古木の風格を漂わせている。コウヤマキ(高野槲)は日本特産種で一科一属一種



所在地 半田 1696
 管理者 原田 孟
 樹種名 コウヤマキ《コウヤマキ科・コウヤマキ属》
 胸高周 1.4m 樹高 12.5m
 樹種名 シダレザクラ《バラ科・サクラ属》
 胸高周 1.7m 樹高 9.3m

の世界的にも珍しい木で、その名が示すように和歌山県高野山に多く自生しているところから名付けられた。高野山は弘法大師(空海)が金剛峰寺を開基し、平安仏教の一つ真言密教の総本山として知られている。紀国紀州の山深く、海抜千以上の山上に杉や榎の巨木に囲まれ堂塔や伽藍が立ち、ここでは霊木として保護され霊前にはコウヤマキの枝が手向けられる。

本県では北茨城市の花園神社境内の拜殿前に立つこの神木の二本のコウヤマキが有名である。いずれも樹高三十以上、幹周四・五以上、推定樹齢六百年で県の天然記念物にもなっている。県内には自生の例がないことから祈願者が奉植したものとと思われる。コウヤマキは樹姿の美しさから庭木として最近特に人気があるようだ。材は水質

に強く桶や船の用材として、また樹皮は槲肌と呼び風呂桶の水漏れを防ぐのに使われたことなど、懐かしい思い出がある。

地域でコウヤマキ以上に有名なのが当家のシダレザクラ。屋敷南側の高さ四層の土手際に立つ推定樹齢三百年以上、幹周一・七以上、樹高九・三層の名木だ。「サクラは枝を切るものではない」と老木を見上げながらしみじみ語る原田さん。十年ほど前長い枝が邪魔になるからと切ってしまったのが何としても悔やまれるようだ。町の天然記念物と言われた、薄紅色の花をピシリ付け、土手下に届くほどに枝垂れ咲く様はさぞや絶景だったろうに。議会人として二十年間、町政に携わった原田さん。八十余歳といえども記憶力抜群、かくしやくとしておられる。「山掃除のとき、桜だけは切るなと言っんです。山桜は寿命が長く、きれいですからね」とサクラへの思いは殊の外強いようだ。原田さんは、昨午年に入つたシダレザクラの苗木を三本取り寄せ、屋敷東側の土手際と自宅の墓地と菩提寺の境内に植えた。背丈五層の立派な苗木は、この春たくさん花を咲かせたそうだ。やがて二代目の後継木となり百花繚乱の春に新しい彩りを加えていくことだろう。

元八郷町立小幡小学校校長 小林文男

●最近気になる病気

「夜よく眠れますか？」

豊後荘病院

精神科 川西洋一医師



「夜よく眠れませんか？」と睡眠の状態についてはどんな患者さんにも私が質問する項目です。

なぜなら、様々な原因で不眠になりませんが、とにかく不眠の状態で苦痛のない方はいないからです。不眠を経験したことのない方はいないと思いますが、不眠は健康感を損なわせたり、アルコールを飲んだときと同様に精神作業能力を低下させ交通事故などを起こしやすくなったりします。

では不眠にならない、さらに快眠のための生活上の注意点はどんなことでしょうか。

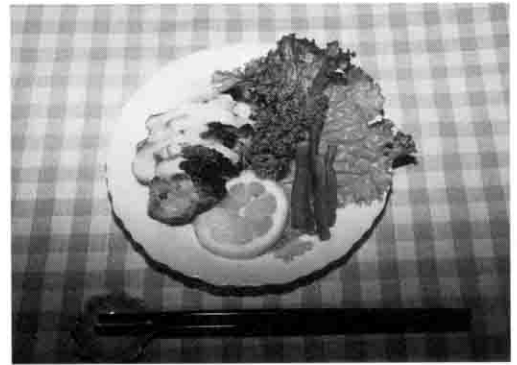
①朝、定時に起きる。②朝、太陽光に当たる。③日中は活動しメリハリをつけた生活をする。④三十分程度の昼寝は夜間の睡眠をよくする場合がある。⑤就寝四時間前よりコーヒーなどの刺激物は避ける。⑥時刻にこだわらな

微を伴う不眠の場合は精神科などの専門医の受診をお勧めします。

①気分が沈みがちで何事にも悲観的になっている、②睡眠中いびきが強く呼吸が乱れる、③足がほてったりムズムズしたりして寝つけない、④夜間の不眠と日中の過度の眠気や全身倦怠感が周期的に来る、⑤入眠困難と朝の覚醒困難が持続する場合、それぞれ①うつ病②睡眠時無呼吸症候群③ムズムズ脚症候群④非二十四時間睡眠覚醒症候群⑤睡眠相後退症候群などの特異的原因による不眠が考えられます。

最後に、睡眠や睡眠薬に関して知っておいていただきたい知識として以下の三点があります。①睡眠八時間というのはあくまでも平均値で、睡眠時間の長短に関わらず、昼間シャキッとしていればそれが適正な睡眠だと考えてよい。②不眠になっても眠ろうと意気込んではいけません。時には睡眠薬により、まず不眠の状態から抜け出すのも力を抜くために有効。③正しく使っている限り現在の睡眠薬は安全性が高く、ほけたり止められなくなったりすることはない。

チキンソテーインディアンソース



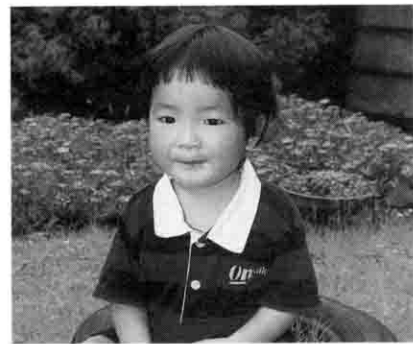
食生活改善推進員 大場 宏美 (佐久)
(ヘルスメイト)

【材料】 (4人分)

★鶏胸肉 (皮付) 320g ★塩 小さじ1
★こしょう 少々 ★酒 大さじ3 ★油 大さじ1
□ソース (マヨネーズ 大さじ4・カレー粉 小さじ1・酢 大さじ1・砂糖 小さじ1・にんにくすりおろし 小さじ1)

【作り方】

①□の材料を混ぜてソースを作る。②鶏肉に塩・こしょうをすり込み下味をつけておく。③フライパンに油を熱し、鶏肉にこんがり焼き色をつけて酒をふりかけ、ふたをして蒸し焼きにする。④鶏肉を食べやすく切り分け、野菜とともに盛り付けて①のソースをかけてできあがり。



わが家のアイドル

浦須

磯山 颯太ちゃん

平成11年8月16日生まれ
父 典孝さん 母 香織さん
★家族からの一言
とても元気な男の子です。外で遊ぶことが大好きで、水鉄砲やシヤボン玉がお気に入りのようです。また、音楽をかけるとリズムに乗って踊り、家族を楽しませてくれます。人の気持ちがかかる優しい子になってほしいですね。

八郷の歴史 (4)

江戸時代の八郷地方の村むらは、支配者が頻りに交替しました。

元和五年(一六二九)の頃の八郷地方の支配の状況を見ると、一部の旗本領(上林・小倉)と片野藩領(片野・根小屋)を除くと笠間藩領(柿岡・吉生・山崎など)と岩槻藩領(金指・半田・月岡など)に大別されます。

それが、寛文四年(一六六四)になると、旗本領などの他は、柿岡など七か村が小田原藩領、猪内など十二か村が牛久藩領、金指など十九か村が関宿藩領という状況になりました。

その後幾多の変遷を経て、幕末の八郷地方は、猪内・大塚・瓦谷・野田・佐久

稲葉氏と「柿岡領五千石」

浦須・真家・吉生・柴間・山崎・宮ヶ崎が牛久藩領であった他は、幕府領一給支配が五か村(上曾・小屋・大増・太田・中戸)、旗本領一給支配が十五か村(部原・小山田・鯨岡・小見・加良寿理・小倉・弓弦・泉沢・辻・菖蒲沢・仏生寺・青田・小幡・小野越・片野)、幕府領と旗本領の二給支配が二か村(柿岡・八重長堀)、旗本領二給支配が五か村(宇治会・小堀・片岡・上林・加生野)、旗本領・岩槻藩領の二給支配が一か村(根小屋)、旗本領三給支配が一か村(柴内)、旗本領四給支配が三か村(金指・須釜・上青柳)、幕府領・旗本領四給支配が一か村(半田)、旗本領五給支配が二か村

(下青柳・月岡)、幕府領・旗本領六給支配が一か村(下林)、旗本領七給支配が一か村(川又)、旗本領八給支配が一か村(細谷)という状況でした。

これらの支配者たちのうち、いわゆる「柿岡五千石」を領したのが稲葉氏です。慶長二年(一五九七)に春日局の三男として生まれた稲葉正勝は、局が家光の乳母になると、八歳で家光に仕え、禄五百石ほかを与えられました。のち元和七年(一六二二)に書院番頭となり、千五百石を加増され、同九年には従五位下丹後守に叙任し、奉行職に列して、常陸国において五千石を与えられました。これが、柿岡・八重長堀・上曾・小屋・太田・中戸・大増七か村の「柿岡五千石」です。

正勝は、寛永元年(一六二四)に真壁郡内に五千石を加増されて、あわせて一

万石となり、のち同九年には八万五千石を領して小田原藩主となりました。

「柿岡領五千石」は正勝の子正則の死後天和三年(一六八三)に、その子正倚(まさより)、正真(まさかず)の二人に分け与えられ、柿岡、上曾、小屋、八重長堀、中戸の五か村は正倚、大増は正真の所領となり、太田村は二人の相給になりました。正倚の系統は、その子正恒の代の享保十五年(一七三〇)に、正恒が本家の淀藩を継いだため、柿岡など五か村を幕府に返納しました。一方正真の系統は正方、正福、正明と続き、正明の代の明和六年(一七六九)に上曾村など稲葉一族の旧領を加えましたが、天明六年(一七八六)に三千石の所領を没収され、以後稲葉氏と八郷町との縁はとだえました。

町史編さん専門委員(近世)久信田喜一



P.N SKY.



P.N テレビ・ジョン



P.N いつか



P.N 聖樹愛華



P.N 樺みつな(16)

わたしも一言



五

月号の広報の表紙を見たとき、とても懐かしく感じました。私

は以前林小学校の算数のT.T(ティーマティーチャー)として六か月間勤務していました。私にとって生徒たちとの別れが、これまでの思い出の中で一番感動的な印象で残っています。二か月たった今でも、あの表紙を見ながら子どもたちの名前が次つきに出てくる自分にも驚きました。またみんなの笑顔が見られてうれしかったです。元気でがんばっていることを願っています。

部原 大湖 千恵

♣ 子どもたちの笑顔はいつ見てもいいものです。カメラを向けると子どもたちは人なつっこい笑顔でポーズを

習字コーナー

評 日本教育書道連盟審査員 岩波 芳水

小桜小五年 萩原真帆

有明中一年 大沼陽子

小五 萩原真帆
努力

素直さが字に表れ、のびのびとした筆はこびで、今後が大変楽しみです。頑張りましょう。

中二 大沼陽子
小鳥と遊ぶ

大胆な筆使いで半紙いっぱい元気よく書けています。よくできました。

とります。こちらまで元気が沸いてきます。 広報係

瓦会小からお花のプレゼント

六月八日、瓦会小学校の児童たちから瓦会郵便局と農協瓦会支所へお花のプランターがそれぞれ手渡されました。これは瓦会小飼育栽培委員会の子どもたち十人が、マリーゴールドやポーチユラカの種を昨年の秋にまいて栽培したもの。日ごろお世話になっているところにプレゼントしようと、子どもたちも張り切って育てていたようです。お花を手渡された瓦会郵便局長の谷島さんは「プランターは郵便局の前に飾

りたいと思います。きっとかわいい花が咲くでしょうね。瓦会小学校の皆さんもたまに見に来てくださいね」と笑顔で話していました。



全問正解者のなかから
抽選で図書券が当たるよ

広報クイズ 160

3つの答えの中から正解を選び
ハガキに書いて送ってください。

①上曾トンネルの長さは、どのくらいですか？

A-3.5km B-2.4km C-1.5km

②防災行政無線の乾電池の大きさは、次のどれですか？

A-単1型 B-単2型 C-単3型

③ 第3分団の団員の数（分団長・副分団長合わせて）何人ですか？

A-58人 B-60人 C-62人

【応募の方法】

☆ハガキに広報クイズ160と書き、
答えの記号（例1-A）、住所、氏名、年齢、世帯主と「私もひとこと」へのご意見や広報の感想などを書いて送ってください。イラストやマンガも大歓迎。

☆全問正解者の中から10人に、図書券をプレゼントします。

☆締切日 平成13年8月20日
（当日消印有効）

☆応募先 〒315-0195 八郷町柿岡5680-1 八郷町役場秘書広聴課

☆当選者の発表 本紙9月号

【広報クイズ158の当選者の発表】

正解は1-C、2-B、3-Aでした。
応募総数42通、正解33通の中から次の10人が当選しました。
飯村玲子（山崎） 上田智美（根小屋） 奥村友紀（山崎） 小原とく（片野） 酒井雅代（真家） 竹越萌野（中戸） 仁平洋子（小幡） 萩原邦男（片岡） 藤崎美恵子（真家） 吉田杉（柿岡） [敬称略]



部原 染谷 和夫(63)



P.N 佐奈 祐人



P.N 奈月さくら



P.N 友希マシロ

● やさと文芸

短歌 大塚 誠選

夏野菜時き終へし畑去りがたく収穫の日に想ひはせをり
山崎 荒井 幸子
恩師の家を訪へば米寿の記念歌碑建つ傍に山法師咲く
月岡 萩原 照子

老いてなほ歌よむ事の幸せをしみじみ思ふ苦吟なれども
弓弦 塚田 キヨ

俳句 綿引 鼓峰 選

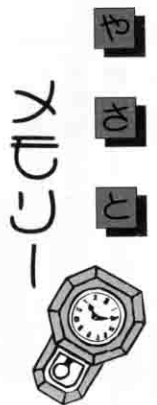
空の青引き寄せ開く四葩かな
柿岡 大塚 比呂
青声の靡き風車のよく廻り
瓦谷 山崎 景子
一と雨の去りて老鶯念近し
青田 田上 岳尾

俚謡 鈴木 弦月 選

土にまみれて畑打つ妻に 女匂わす旅の朝
下林 谷島 清風
土に親しむ世継ぎの夫婦 老いた父母へと送る句
下林 白井 富喜江
土の匂いが肌身に沁みる亡父の形見のめくら編
下林 小野瀬 午風



峰寺山西光院の修復工事が着工し、上棟式が行われました。昭和四十七年当時、西光院は、県指定文化財で、茨城百景の一つ。関東の清水寺として親しまれています。



「まち」の話題で「きごと」

身近な出来事や地元の話をおよそくください
 (連絡先・秘書広聴課管内線一三四三)



ただ今、八郷町を勉強中

六月二十八日「八郷町・すてき旅案内人の会(鯉淵徳松会長)」による研修会が行われました。同会は、観光に訪れてくれたお客様に八郷町の自然や歴史、文化を知っていただくことを目的に、案内人として分かりやすい案内ができるように勉強会を行っています。勉強会は今年の六月から始まり、二十三人の会員で活動しています。

今回の研修には、会員二十人が集まり、

婦命山如来寺、茨城県フラワーパーク、ふれあいの森、峰寺山西光院、東筑波ユートピアの順に、八郷町の観光地や歴史的名勝を実際に見学しました。

参加した会員の皆さんは暑い日差しが照りつける中にもかかわらず、メモを取りながら熱心に勉強に励んでいました。

同会では八月、フラワーパークを会場に観光案内を希望するお客様に観光の道案内をボランティアで行う予定です。

舞台に立ってちよっぴり緊張

八郷町少女合唱団(渡辺信人団長)のミニコンサートが七月一日に中央公民館を会場に行われました。コンサートには少年少女合唱団の他に友情出演として北浦少年少女合唱団、コロロエスペランサ(北浦町)、コール有明(八郷町)、合唱団つくばおろし(八郷町)が参加し、会場は息の合った歌声が響き渡りました。

八郷町少年少女合唱団は小学生から中学生を対象に今年四月から六月までを体験入団期間とし、これまでの活動のし

めくくりとして同コンサートが行われました。団長の渡辺さんは「皆さんに歌を聴いてもらうことで、団員がうれしきや喜びを感じ、それが大きな自信になっていくと思っんです」と話し、「これから、老人ホームなどで歌を聞いてもらったり、発表会を行ったりしていきたいと思っっています」と語ってくれました。

八郷町少年少女合唱団では、毎週土曜日の夜七時から中央公民館で練習をしています。興味のある方は一度練習を見に来てください。



各種大会結果

第2回ソフトバレーボール大会

6月17日

男女混合チーム▽優勝八郷クラブ▽準優勝NSBクラブB▽三位NSBクラブA女子チーム▽優勝フレッシュイー▽準優勝NSBクラブD▽三位金指ソフトバレーA

第21回新治郡球技大会

6月24日

ママさんバレーボールの部▽優勝霞ヶ浦町▽準優勝下り(玉里村)クロッケの部▽優勝下大津霞ヶ浦町▽準優勝牛渡(霞ヶ浦町)▽三位八郷A(八郷町)ゲートボールの部▽優勝霞ヶ浦B(霞ヶ浦町)▽準優勝霞ヶ浦A(霞ヶ浦町)▽三位八郷B(八郷町)・千代田C(千代田町)軟式野球の部▽優勝べんてる(玉里村)▽準優勝Posse(八郷町)お父さんソフトボールの部▽優勝園西ソフト(八郷町)▽準優勝オール千代田(千代田町)

訂正とお詫

広報六月号七ページ下段の婦人消防隊の紹介で藤田香保利(小幡)さんは、糸賀淳子(小幡)さんの誤りでした。十三ページのや

犯罪のない明るい社会は地域から

七月六日に第五十一回社会を明るくする運動八郷町地区大会が役場会議室で行われました。

社会を明るくする運動とは、すべての国民が犯罪や非行の防止と、罪を犯した人たちの更正について理解を深め、それぞれの立場において力を合わせながら、犯罪や非行のない明るい社会を築こうとする全国的な運動です。

大会では、茨城大学教授の鈴木暎一氏による「水戸黄門の虚像と実像」と題する講演と、広報ビデオ「少年の地図」が上映されました。

近年、子どもによる凶悪事件、いじめ、不登校などが増えています。これは都市化などによって人と人との関係が希薄になり、地域での教育力や犯罪抑止力がな

くなってきた背景にあるようです。

今年の社会を明るくする運動の重点目標は、「犯罪や非行を防止し、罪を犯した人や非行をした少年の更生を支え、『いきいき』とした明るい地域づくりに参画する」です。子どもたちがいきいきとするためには、子どもたち自身を受け入れてくれる人や場所が必要です。地域の中に子どもたちの居場所をつくるために、子どもと大人が一緒に参加できる地域活動の場を私たち大人は作っていくことが大切です。そして、地域の催し物に積極的に参加することで住民同士の触れ合いが生まれ、犯罪や非行のない明るい地域づくりにつながっていきます。



東成井スポーツ少年団でゴミ拾い

東成井スポーツ少年団（越村悟団長）では、七月八日に夏期行事の一環として、親子によるゴミ拾いを行いました。

参加者は東成井小学校から出発し、五班に分かれて、それぞれの通学路のゴミを拾い集めました。たった三十分で、ほらこんなに。（上段写真）子どもたちも集まったゴミを見ながら「すごい量のゴミだね。ゴミ置き場があるのにどうしてだろっね」と驚いたようでした。

団長の越村さんは「スポーツ少年団ではこのような行事を行うのは今年が初めてですが、ほとんどの団員が参加してくれました。少年団もスポーツだけをするのではなく、ボランティア活動とおしで子どもたちの奉仕の心を育てていきたい」と語り、「これからも毎年続けていきたい行事の一つだと考えています」と話してくれました。

さと文芸の俳句で大掻機は代掻機の誤りでした。十四ページ下段ターゲット・バードゴルフ大会男子の部優勝の小林充さんは小松さんの誤りです。訂正するとともにお詫びいたします。



先日、広報に使うウォーキングの写真を撮ろうとしていたところ、「サイクリングコースに夕方になると人が歩いてる」との情報を入手し、カメラを抱えて行ってきました。グループで何人かは歩いてるだろうと、気楽に考えていたのですが、いざ行ってみたらガラランとしていました。気を取り直し、朝ならいるだろうと早朝再び行きました。人っ子一人いませんでした。少し待機してはいたので、来るようすもないのでそのまま帰宅。それから数日後、石岡市の柏原公園のウォーキングコースにお邪魔しました。結果は今月号の三ページです。お二人は毎日公園に来て歩いているそうです。生き生きとした表情が印象的でした。皆さんは健康作りにウォーキングしていますか。私も久々の早起きが気持ち良かったので、始めてみようかなと思います。（且）



青少年を育てる八郷町民の会

吉生地区でクリーン作戦

平成十二年度に発足した青少年を育てる町民の会では、町全体を対象に活動を行う本部組織の下で、町内の小学校単位の活動していく支部の設立をすすめてきました。現在、恋瀬、吉生、葦穂、朝日、林支部がそれぞれ設立し、事業計画がまとまりました。

吉生支部（本図一衛支部長）では、早くも事業が行われました。



通学路をきれいにしようと、大人と子どもが力を合わせてごみ拾いを行いました。「こんなに拾ったよ」と子どもたち。

六月十七日早朝、吉生全地区でクリーン作戦が行われました。これは、青少年を育てる八郷町民の会吉生支部の事業として行われたもの。当日は小・中学生と大人たちが協同で通学路の除草や地区内のごみ拾いを行いました。参加した会員は「通学路を通るたびに歩きにくいなど平日頃から思っていたので助かりました。このように子どもたちと清掃ができたのもよかったです」と話します。

吉生支部は今年の五月二十六日に設立総会が行われ、年間の事業計画がまとまりました。これからは花いっぱい運動、地区子ども会盆踊り大会、クリーン作戦、吉生の自然にふれる会、オアシス運動などへの参加が予定されています。

町民の会支部については現在、吉生支部のほか恋瀬、葦穂、朝日、林が設立しており、青少年を健全に育むための環境づくりをすすめています。なお、他の支部においても順次準備会を行い、九月中にはすべてが設立する予定です。



町民の会支部設立に向けての準備会のようす。(林支部) 区長を中心に、地元の有志が集まり、話し合いが行われます。

問い合わせ先

八郷町教育委員会生涯学習課 (内1272)

組織図と周囲のかかわり

